

養殖事業の先行事例学ぶ

水産部会視察研修会 八雲町・函館市を訪問



水産部会（笹谷智貴部会長）では、今年度の重点項目に『水産増養殖事業の実施に向けた情報収集と側面的支援』を掲げ活動しており、1月27日（火）、28日（水）に水産養殖に関する視察研修会を実施。部会役員ら7人が参加した。

27日は八雲町のトラウトサーモン種苗生産施設と熊石漁港を訪問し、八雲町水産課の吉田一久課

長 多田玲央 次郎課長補佐、青山智哉氏、ひやま漁業協同組合の西村俊昭専務理事、同二海サーモンの高橋聖治代表の説明で施設や漁港内の生け簀を視察した。


同町は町営施設で種苗を生産し、地元漁業者3名により設立した同二海サーモンが海面養殖を担う自立経営体制を確立している。また、生産した種苗は八雲町の近隣地域などにも供給を行なっている。

視察では、種苗の育成サイクルや病気対策、海面養殖の管理体制、コストなど、生産や運営に関することのほか、増産に向けた施設の拡張が計画されていることなどが説明された。

28日には、函館市国際水産・海洋総合研究センターを視察し、(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構の川村真一事務局長から『函館マリカルチャープロジェクト』などについて説明を受けた。

本プロジェクトは、函館市や北海道大学などの参画のもと運営され、キングサームーン・マコンプの完全養殖と魚類養殖で排出されるCO₂を海藻養殖で吸収する地域カーボンニュートラルへの貢献、北海道大学の改革・人材育成を目指し調査研究を実施

マリ
説明



ルチャープロジェクトの
受ける様子



川村氏は、函館市の水産の歴史をはじめ、プロジェクト発足の経緯やサーモンの完全養殖に成功した研究成果などを紹介し、今後の課題や市場価値を高めるための展望を話した。

持続的

事業の中間報告 （月）	業の中間報告 （月）
当所と	に当所と
草の根事業	JICA の根事業
生事業とし	生事業とし
JICA都市	国水産都市
引する人材	を育成する人材
「ク」は来	「ク」は来
迎える。	迎える。
タナ市の	タナ市の
でバリュー	でバリュー
成している	成している
ナーを養	ナーを養
育成事業	育成事業
連事業者や	連事業者や
どの相互理	どの相互理
人のネッ	人のネッ
成を目的と	成を目的と
流事業」を	流事業」を
業の中間報	業の中間報
（月）	（月）
に当所と	に当所と

な人材・経済交流へ
現地で開催報告

（公財）釧路根室圏産業技術振興センターの担当者2人で現地を訪れた。人材育成事業では、釧路の水産関係者らが講師を務め専門知識を解説する動画を搭載したeラーニングシステムを利用し人材育成計画の作成や運用を支援。現地のトレーナーが目的に合った教育プログラムを設計し提供できる体制が整えられた。

人材選流事業については、伝統的な人材・経済交流の基盤づくりに着手。今回はタナン大学などを訪問し、高度人材の採用に繋がる大学生のイ

説明する様子

eラーニングの運用について



ンターシップ制度への理解を深めた。学生が最長1年間海外の企業で研修する本制度は、特定の大学と専攻の学生を指定

するた
ズに即
会うこ
に大学
の学生



め、よの企業二一
した専門人材に出
てができる。その
卒業後には約8割
が研修先の企業に
就職するなど、
企業と学生がマ
ッチングする機
会となってい
る。

また、現地で
は民間経済団体
の幹部との懇談
が行われ、企業
間の経済交流の
促進に向け、意
欲的な提案を受
けた。

当所では、2
014年から10
年以上の長きに
わたる支援事業
の終了に向け、
現地における人

確定申告される皆さまへ

□ 令和8年分の申告・納付期間 □

所得税等	2月16日(月)～3月16日(月)
個人事業者の消費税等	2月16日(月)～3月31日(火)

-----**確定申告会場(税務署)にて申告される方**-----

混雑回避のため入場には整理券が必要です。

①LINE(国税庁公式アカウント)で来場希望日等をあらかじめ予約

②当日、会場で整理券を受け取る

※相談受付時間は平日午前9時～午後4時

●税制改正に伴う変更点(控除額の見直し等)にご注意ください

詳しくはこちらから

スマホとマイナカードがあれば
e-Taxを利用した申告ができます！
まだ国税の納付はキャッシュレスも可能です

ご相談は当所でも受付けています。
期限直前は混雑が予想されますのでご相談はお早めに。

地域振興部 0154-41-4143

事業計画は会議所活動を行うための指針となる。

10日の会議では、正副会頭と8つの部会（商業、商事、理財、水産、工礦業、建設、運輸交通、観光サービス）の部会長、5つの常設委員会総務財政部、地域開発、中小企業、都市イメージアップ、政策）の委員長らが出席し、事前に政策委員会や会頭・副会頭会議で協議した原案を審議した。

会議の冒頭、栗林正定会頭は地域や事業者を取り巻く現状に触れ「課題が山積し、地域の未来を

く・興す」をキーワードに、①交通ネットワーク、②産業・ビジネス、③まち、④人材、⑤人口減対策を重点分野に掲げ、各分野における具体的な項目を提案。新たな『中小企業・小規模事業者の経営基盤強化に向けた生成AIの活用及びDXの推進』『外貨獲得に向けた付加価値向上及びマーケット拡大への取組』『高等教育機関の機能維持及び人材育成環境の整備促進』の項目を加え、地域や事業者の「稼ぐ力」の強化、人材育成の環境整備、創略の涼し

商談会・相談会を実施

販路拡大・磨き上げ研究会



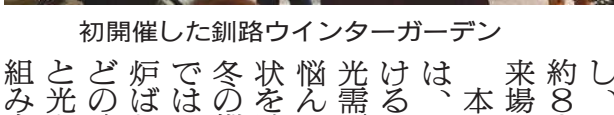
事業者	アドバイザー	開	して	加し	開催
<p>磨き上げに なる商品の磨き上げに向</p>	<p>相談会を行った。</p> <p>専門家も同席し商談会・ 商談会を行った。</p> <p>商談会では、事業者が 研修会で学んだことを活 かして自社商品をPR し、バイヤーなどがさら</p>	<p>務めたブランドینگの これまでの研修で講師を 招くとともに、</p> <p>担当者、知名度が高い企 業のバイヤー・商品政策</p>	<p>最終日となる今回は、 今後の事業展開につなげ るため、</p> <p>研修会・個別相談会を進 めてきた。</p>	<p>的に2016年から実施 している。今年はニース に合ったPR方法・商品 開発をベースに全4回の</p>	<p>発のPRを招き、商品の 磨き上げや販路拡大を目 的に2016年から実施 している。今年はニース に合ったPR方法・商品 開発をベースに全4回の 研修会・個別相談会を進 めてきた。</p>

けた改善点や魅せ方をマドバイスした。

参加者は「商談会が少なくなっている中、このような場を開いてくれてありがたしい。研修会もとでも勉強になった」と感想を話した。

バイヤーは「始めたばかりの商品から全国展開しているものまで、さまざまな商品の魅力を知ることができた」「参加者の方からお話を聞き、たくさん商品の知る機会が貴重。参加できることに感謝している」と語った。

休憩時間には、参加者同士で商品について語る姿や、バイヤーなどに質問する様子が見られた。



わい
開催

な体験型
鉦路ワイ
を初開催
2日間で
00人が
した。

イベント
鉦路にお
冬季の観
要が伸び
ている現
踏まえ、
鉦路なら
の景観や
文化など
地域資源
や音楽を
合わせた

体験型イ
し、地域
観光コン
目的とし
会場は、
の飲食ブ
の特設ス
ており、
地元企業
テ、生ビ
特設ステ
校吹奏楽
ンバンド
CH IYA
C H I Y A
よる音楽
れた。

24日の午後6時には、越会長がステージへ登壇。開催にあたり、来賓者やY E Gメンパーベ感謝を述べるとともに「夏と比べて、鉦路の名」

事業計画の策定に向け

令和8年度
事業計画
部会・委員会
で審議


令和8年度事業計画の策定に向けた会頭・副会頭と部会長・委員長会議が10日（火）午後2時30分より行われた。今後、当所を構成する部会と常務委員会が原案の協議が進められ、3月下旬に開催される通常議員総会で左右する重要な局面
えている」と強調。
議所の担いを遂行す

北海道事業承継・引継ぎ支援センター 釧路サテライトのご紹介

■事業承継には、
ご親族へ引き継ぐ「親族内承継」
従業員へ引き継ぐ「従業員承継(MBO)」
第三者へ引き継ぐ「第三者承継(M&A)」
など、様々な方法があります。

常設
事業計画
委員会など
に諮った後
3月の常議
員会を経て
常議員総会
で決定する

このようなお悩みをお持ちの方はぜひ一度ご相談ください

後継者が いない…	親族に事業を 継がせたい	事業承継って 何をしたらいい?	個人事業主でも 相談できる?
第三者承継を 検討したい	借入金があ っても大丈夫?	創業希望者と マッチングしたい	 <p>詳しくはHPへ</p>
事業承継計画は どう作る?	従業員や 役員に事業を 継がせたい	どこに相談 したいの?	

お申込み・お問合せは 0154-41-4143
北海道事業承継・引継ぎ支援センター釧路サテライト(当所経営相談課内)

女性会 迫田栄重会長
の2日（月）、昨年夏の
波警報発令を受け、災



学ぶ
2月例会
心構えを学ぶ、市
の担当者を超
え、市役所を
はじめに
市を担当する
は東日本大
震災以降、
『防災』か
ら被害を量
小限に抑え
る『減災』
へと意識転
換している
ことを論
調。
また、津
波警報時に

避難先での混乱を防ぐため、津波警報と大津波警報の違いや、対象区域を正しく理解し避難することが大切と説明し「特に釧路市では巨大地震が予測されており、正しく恐れていることの重要性を周知していきたい」と語った。

さらに、一時的に逃げ込む『避難場所』と長期滞在する『避難所』を明確に区別し、逃げるのが重要であると話した。

最後に、災害の発生直後は行政支援が遅れるため、命を守る『自助』として、水や簡易トイレなど最低3日分の備蓄徹底と、WEBハザードマップの活用を呼びかけた。

「案内コーナー」


持続化補助金
公募要領公開

小規模事業者持続化補助金の一般型（通常枠）第19回および創業型第3回の公募要領が公開になりました。

申請受付は、3月6日（金）～4月30日（木）午後5時まで。採択発表は7月ごろの予定です。

また、商工会議所で発行する事業支援計画書（様式4）の締め切りは4月16日（木）までとなります。

ご不明な点は補助金のホームページ（下記Q

R)または補助金事務
03(6747)4600
までお問い合わせ
わしてください。


会員の皆様へ
会費納入のお願い
令和7年度分の会費
求書(再請求)を対象
なる会員事業者へお送
しています。
お手元に届いた請求書
は、3月10日(火)ま
にお近くの金融機関
または当所窓口にご持参
うえ、ご納入ください。
お問い合わせは、総
課0154(41)411
1まで。

4 務 のま で書 りと請 9 局